

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇ 第14回 TOMO - KEN
◇ 障教ネット案内 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集:兵高教書記局

10/2 県教委

2024年度高等学校進学希望者数等調査の結果公表

＝国公立中学校卒業予定者数、前年度比 44 人減/県内全日制公立高校志望者数は 187 人減＝

1 進学希望等の状況

単位:人(%)

区分		令和6年度	令和5年度	令和5年度との差	
国公立中学校卒業予定者数		44,077 (100.0%)	44,121 (100.0%)	△44 (±0.0)	
高等学校等進学希望者数		43,761 (99.3%)	43,730 (99.1%)	+31 (+0.2)	
県内	公立高校	全日制	35,404 (80.3%)	35,591 (80.7%)	△187 (△0.4)
		定時制・多部制	817 (1.9%)	848 (1.9%)	△31 (±0.0)
		通信制	214 (0.5%)	154 (0.3%)	+60 (+0.2)
	計	36,435 (82.7%)	36,593 (82.9%)	△158 (△0.2)	
	私立高校(全日制)	2,166 (4.9%)	2,183 (4.9%)	△17 (±0.0)	
高等専門学校	586 (1.3%)	654 (1.5%)	△68 (△0.2)		
特別支援学校高等部	547 (1.2%)	558 (1.3%)	△11 (△0.1)		
計	39,734 (90.1%)	39,988 (90.6%)	△254 (△0.5)		
県外	国公立高校(全日制)	269 (0.6%)	251 (0.6%)	+18 (±0.0)	
	私立高校(全日制)	1,214 (2.8%)	1,195 (2.7%)	+19 (+0.1)	
	公立通信制高校	14 (0.0%)	10 (0.0%)	+4 (±0.0)	
	その他	91 (0.2%)	90 (0.2%)	+1 (±0.0)	
計	1,588 (3.6%)	1,546 (3.5%)	+42 (+0.1)		
広域通信	県内に本校を置く高校	216 (0.5%)	192 (0.4%)	+24 (+0.1)	
	県外に本校を置く高校	1,260 (2.9%)	1,163 (2.6%)	+97 (+0.3)	
計	1,476 (3.3%)	1,355 (3.1%)	+121 (+0.2)		
進学先未定		963 (2.2%)	841 (1.9%)	+122 (+0.3)	
専修学校等		110 (0.2%)	137 (0.3%)	△27 (△0.1)	
就職		81 (0.2%)	72 (0.2%)	+9 (±0.0)	
進路未定		125 (0.3%)	182 (0.4%)	△57 (△0.1)	

10月2日、兵庫県教育委員会は9月1日現在で実施した「令和6年度高等学校進学希望者数等調査」の結果を公表しました。

調査結果によると、今年度末の国公立中学校卒業予定者数は44,077人と昨年度と比べて44人減少していますが、高等学校進学希望者数は31人増加しています。現時点での県内の定時制・多部制への進学希望者は817人(昨年同期比31人減)、通信制は県内公立214人(昨年同期比60人増)、広域

通信制へは1,476人(昨年同期比121人増)となっており、通信制高等学校進学希望者の増加傾向が続いています。

また、県内の高等学校・高等専門学校・特別支援学校の進学希望者は私立高等学校も含め減少している一方、県外の国公立・私立高等学校等への進学希望者はわずかに増加

- 注1 各年度の数値は、いずれも、前年の9月1日現在のものである(以下同じ)。
- 注2 ()書きは国公立中学校卒業予定者数全体に占める割合である(以下同じ)。
- 注3 県外の「その他」は、定時制高校、高等専門学校、特別支援学校高等部である。
- 注4 「専修学校等」は、専修学校・各種学校・公共職業訓練施設である。
- 注5 表中の割合は、四捨五入の関係で必ずしも100%にはならない。

県教委記者発表資料より

記者発表資料へのリンク(短縮URL)

<https://x.gd/umrBx>



緊張が続く国際情勢の影響等により、資源・エネルギー価格の高騰、物流コストの上昇、円安の進行等により諸物価が高騰する中、多くの家庭で経済状況が悪化し、子どもたちをとりまく状況はさらに厳しさを増しています。兵高教は兵高教組と連携を取りながら、子どもたちの豊かな学びを保障する観点に立ち、高校教育改革の進捗状況や各学区の抱える課題解決を基本的に据え、全体的・中長期的な視野に立つて取り組みをすすめて行きます。

「すべての希望する人に後期中等教育を保障する」ためには、進学設定率を100%にし、希望者全員の入学を保障する募集計画の策定を進めることが求められます。

今回の調査結果をみても、引き続き定時制・多部制・通信制高等学校の充実と学級規模の拡充が不可欠であるとともに、広域通信制進学希望者が年々増加の一途をたどっていることについて、その背景を分析し、多様な生徒の学びに対応できる、インクルーシブな学校づくりをさらに進めていくとくみも必要です。

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

日教組 障害のある教職員ネットワークに 登録しませんか？

日本教職員組合では、2014年3月「障害のある教職員ネットワーク」を結成し、ひとりで悩んでいることを話し合える場、仲間とつながる場としてスタートしました。全国集会の開催や障害をもって働く教職員の声を集め、文科省要請などにとりくんでいます。教職員採用試験における差別的要件は、2020年度採用からすべての自治体で撤廃しています。一人ひとりの声を、組合の声として届けてきた成果です。

今必要なことは、障害者活躍推進計画など新たな制度が、様々な検討・導入されていくなか、その内容を真に、障害をもって働く教職員に資する内容にしていくとみです。

一人ひとりの声を、このネットワークの中で共有し、組合の声として、関係機関に届けていくことが、制度や環境を変えるきっかけになります。誰もが働きやすい職場、働き続けられる環境整備を求めて、一緒に声をあげませんか？

【目的】

- ◇障害のある教職員のニーズを把握し、労働条件に関する情報交換を行い、課題等を共有する。
- ◇障害のある教職員の雇用拡大、合理的配慮の推進をはかり、障害のある教職員が働きやすい職場環境整備を求める。
- ◇障害のある教職員を組織化し、インクルーシブな職場づくりをめざす。

【登録対象者】

- ◇障害者手帳を取得している教職員
- ◇障害者手帳を取得していないが、難病等機能障害があり、日常生活に相当の制限を受ける状態にある教職員

★詳細や登録については、書記局までお問い合わせください。

今後の主な日程

- ◆人権啓発研究第44回兵庫県集会 ※右参照
とき 10月28日(土) 10:00~16:00
ところ 兵庫県立のじぎく会館
- ◆教育改革全国キャンペーン中央集会2023
「部活動の地域移行で何が変わる？」(仮)
とき 11月11日(土) 13:00~16:00
形態 YouTube LIVEによる限定配信(Web)
- ◆第9回障害のある教職員ネットワーク全国集会
とき 11月18日(土) 13:00~
ところ 日本教育会館

★詳細は書記局までお問い合わせください。
積極的ご参加をお願いします。

第14回 TOMO-KEN ~友に学ぶ 共に学ぶ~ (青年教育実践交流集会) 開催

10月7日(土)~8日(日)、東京・日本教育会館において「第14回 TOMO-KEN~友に学ぶ 共に学ぶ~(青年教育実践交流集会)」が開催されました。

全体会・分科会・夕食交流会を通して、全国のさまざまな校種の若手教職員の仲間と語り合い、学習し、交流を深めました。

兵高教からの参加者の感想(抜粋)です。

全体を通して有意義な時間になったと思います。全国広しといえど、教員の悩みは共感できるものが多く、特に解決の糸口として時間の確保が課題として浮き彫りになっていました。(中略) 全国の教員の悩みはそこまで大きく変わらないんだ、みんなも似た環境で努力しているんだと感じ、仲間ができた感覚になりました。(後略)



人権啓発研究 第44回 兵庫県集会

日時 2023年10月28日(土) 10:00~16:00

10:00 開会行事	10:20~11:50 記念講演	12:00~13:00 休憩	13:00~16:00 分科会
---------------	---------------------	-------------------	--------------------

申込締切 10月23日(月)

参加方法

- (1) 兵庫県立のじぎく会館 ※定員250人
- (2) オンライン配信 ※定員500人
⇒(1)(2)参加費:3,000円(学生・障害者1,500円) ※討議資料・報告書含む
- (3) サテライト会場(県内隣保館等) ※定員は会場ごとに異なります。
⇒(3)討議資料代:500円(報告書は含みません)

※オンライン配信、サテライト会場は、全体集会(午前)、第1分科会のみ配信となります。

弁当代 1,000円(希望者) ※別途お申込みが必要です。

■記念講演:もう始まっている多民族・多文化共生社会 まっとうな移民政策を
~どうして奴隷労働と言われるのか 外国人技能実習制度~

講師:鳥井一平さん(特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)代表理事)

- 外国人技能実習生権利ネットワーク運営委員、全統一労働組合特別執行委員、JNATIP(人身売買禁止全国ネットワーク)共同代表、中小労組政策ネットワーク事務局長、自主生産ネットワーク代表。
- 1990年以来外国人労働者の権利支援活動に携わる。1993年、「外国人春闘」を組織化。社会的に「外国人労働者問題」を認知させる。2005年、外国人技能実習生が時給300円で働かされている実態を告発し、技能実習生支援活動を本格化。「現代の奴隷制」と批判される技能実習制度の問題を追及してきた活動と永年にわたる外国人労働者支援が認められ、アメリカ国務省から2013年度の「Trafficking in Persons Report Heroes(人身売買と闘うヒーロー)」に選ばれた。2019年、NHK『プロフェッショナル』で活動が紹介される。
- 著書『国家と移民 外国人労働者と日本の未来』(集英社新書、2020年)

主催 人権啓発研究第44回兵庫県集会実行委員会
(公財)神戸学生青年センター/障害者問題を考える兵庫県連絡会議/同和問題にとりくむ兵庫県宗教教団連絡会議/日本労働組合総連合会兵庫連合会/兵庫県教職員組合/兵庫県在日外国人教育研究協議会/兵庫県人権啓発企業連絡会/一社)ひょうご部落解放・人権研究所/兵庫部落出身教職員会(礎友会)/部落解放同盟兵庫連合会/部落解放兵庫県民共闘会議/(以上11団体)

後援 兵庫県、公益財団法人兵庫県人権啓発協会、兵庫県人権教育研究協議会

<http://blrhyg.org/workshop/workshop.html>

